



## 猿島美術館

細田 絵里子 (ほそだ えりこ)  
東京電機大学 未来科学部 建築学科

奨励賞

特別審査員賞



猿島には小さな島全体にわたってトンネルや砲台等の軍事施設が廃墟となって存在する。この計画では「啓蒙する」をテーマに、猿島を美術館へ変える。島の史跡をたどり島を一周するルートを形成し、これを軸に島全体をフィールドとする美術館をつくる。ルートをたどるなかで島の自然・歴史・美術と対峙する空間体験により自分たちの意識を成長させ、無関心である蒙(くら)い状態を知識という光でもって啓(ひら)いていく。そして過去・現在を見つめなおし未来を考える場をつくる。

### 講評

米軍の基地がある街、横須賀の海岸の近くに、今なお戦争の爪痕を残す要塞島があることを初めて知った。現在この島へは誰でも渡ることができるが、木立や岩肌の奥に隠された、島の本当の姿を目にする人は少ない。作者は島の悲鳴を敏感に感じ取り、島の歴史や痛みを、島へ訪れる人たちに知ってもらう為に、美術館を提案した。建築が世界を変える事は難しいが、建築を通して人の意識を変える(気づかせる)ことはできる。建築にはそうした力があるという信念のもとに、意欲的な設計を行っている。切り通しやトンネル、地下要塞など歴史の遺産を活用し、美術館として仕上げていく。ひとこと提言すれば、迫力ある模型だが、すべてが白色で、どの部分が計画の対象となる美術館なのかを即座に理解できなかった。

(審査委員：大岩 義充)